



2010年  
2月18日  
農薬登録!

水田の雑草防除に全く新規の広葉剤テフリルトリオン登場。  
メフェナセットとの2成分で、水稻栽培に貢献します

水稻用の除草剤(初中期一発剤)

「ポッシブルフロアブル」

ポッシブルフロアブルは、水田の広葉雑草に卓効を示す新規除草剤「テフリルトリオン」とノビエの防除剤として既に定評のある「メフェナセット」の2成分から成る水稻用初中期一発剤です。テフリルトリオンは、ノビエを除くほとんど全ての一年生雑草ならびに多年生雑草に対して高い効果を示す新規有効成分です。ポッシブルフロアブルは、水田の各種雑草の発生前からノビエ3葉期まで、幅広くご使用できます。ポッシブルフロアブルの特性・登録情報についてとりまとめましたので、ご使用の参考となれば幸いです。

バイエルクロップサイエンス株式会社



ポッシブルフロアブルの特長

- 1「2成分で高い除草効果」  
新規有効成分のテフリルトリオンとメフェナセットの2種混合で、ノビエをはじめとした二年生雑草から、ホタルイ、ウリカワ、ヘラオモダカ、ヒルムシロ、セリ、オモダカなどの多年生雑草に対する優れた効果を示します。2種混合剤のポッシブルは、慣行の栽培はもろんのこと、昨今の減農薬栽培にも適しています。
- 2「抵抗性雑草にも有効」  
近年問題となっているスルホニルウレア抵抗性雑草(ミズアオイ、ホタルイ類、アゼナ類等)に対しても、新規成分テフリルトリオンが優れた活性を示します。
- 3「難防除雑草・特殊雑草にも有効」  
ポッシブルは難防除雑草(オモダカ等)にも有効です。また、エノノサヤヌカグサ、タウコギ等の特殊雑草に対しても効果があります。
- 4「効果が分かりやすい」  
薬剤処理後に雑草が白化するので、効果が確認が容易です。また、異なる作用のテフリルトリオンとメフェナセット両成分の共力作用で、殺草スピードが速くなります。
- 5「長期間雑草の発生を抑える」  
各種雑草に対して40〜50日間の残効が期待でき、通常の圃場条件では2回の散布で雑草を防除できます。
- 6「水稲に対する安全性が高い」  
水稲に対する選択性が高く、通常の圃場条件下では安心して使用できます。



登録内容

平成22年2月18日付でポッシブルフロアブルが新規に登録となりました。新規登録の内容は以下の通りです。

表1.適用雑草および使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ(北海道、東北)、ミスガヤツリ(北海道を除く)、ウリカワ、クロクワイ(東北)、オモダカ(北海道、東北)、ヒルムシロ、セリ、エノノサヤヌカグサ(北海道)	移植後5日〜ノビエ3葉期 ただし、移植後30日まで	砂壤土〜埴土	500ml/10a	1回	原液水散布	全域(関東・東山・東海を除く)の普通期及び早期栽培地帯
			壤土〜埴土				関東・東山・東海の普通期及び早期栽培地帯
テフリルトリオンを含む農薬の総使用回数		メフェナセットを含む農薬の総使用回数					
2回以内		2回以内					

テフリルトリオンの作用について

テフリルトリオンは、イネ科を除く、カヤツリグサ科および広葉雑草に有効です。それら雑草の発生前から発生盛期まで、高い活性を発揮します。テフリルトリオンは雑草の根部、幼芽部、莖葉基部より吸収されます。

メフェナセットについて

雑草体内では光合成電子伝達系経路のプラストキソンの合成に関与する4-HPPDに作用して、雑草の生育を抑制し、白化症状を発現して枯死させます。(雑草の白化症状は既に展開している葉ではなく、新たに伸展してくる葉に現れます。)※図1・図2参照

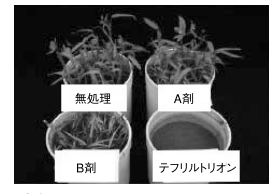
ポッシブルフロアブルの上手な使い方

登録の使用時期は、水稲の移植後5日からノビエ3葉期まで、ただし、移植後30日までです。北海道では、代かきから移植までの日数が比較的長い場合があります。一発剤として使用される時、移植後10日前後が使用の目安となります。実際には、ノビエの発生状況を見て、必ず雑草の葉齢を超えないように散布してください。難防除雑草の発生が多い水田において、既に初期剤をご利用されている場合は、

おわりに

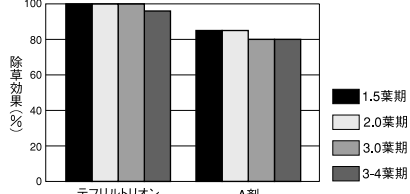
ポッシブルフロアブルは、水稻栽培での雑草防除ニーズに適切、貢献できると確信しております。ポッシブルには、1キログラム剤、ジャンボ剤もあります。同様にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

図1.抵抗性ミズアオイに対する効果



・試験場:アベンティス クロップサイエンスオノギ(株) 明野研究所  
・試験規模:1/5000aフネルポット  
・供試土壌:寒水田土  
・処理時期:ミズアオイ 1.5葉期

図2.抵抗性ホタルイに対する効果



・試験場:バイエルクロップサイエンス(株) 結城中央研究所  
・試験規模:1000cm<sup>2</sup>(ポット)2連割  
・試験土壌:沖積軽粘土  
・灌水条件:0.5cm/日の灌水を試験期間中実施  
・調査:処理4週間後に達観調査

図3.ポッシブルフロアブルの除草効果 委託試験結果まとめ(平成17年〜平成20年)

